

クライスラー・200C EV コンセプトカー

現代的なデザイン、レンジエクステンダー搭載電気自動車駆動システム、
未来のネット接続性を実現

- 新しいクライスラーの DNA を訴求する発想力豊かで、情感あふれるスタイリング
- デザインと技術を訴求するクライスラー・200C EV コンセプトカーに外観の美しさと「知力」を融合
- 脚光をあびる未来のネット接続性
- 400 マイル連続走行可能な ENVI のレンジエクステンダー搭載電気自動車駆動システム
- 燃料消費ゼロ、排出ガスゼロの 100%電動走行で 40 マイル走行可能

デザインとテクノロジーを完全に融合した新型クライスラー・200C EV コンセプトカーは、これまで 1 つのモデルでここまでに見事に実現されることのなかった上質さと洗練性を備え、責任あるモビリティの概念を再定義するものです。

クライスラー社製品開発部門統括エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント、フランク・クリーゴンは次のように述べています。「クライスラー・200C EV コンセプトカーには、刺激的なデザインと最先端のテクノロジー、そして新しいクライスラーの DNA が完全に融合されています。クライスラーの最新コンセプトカーは、日常の走行においてほぼ排出ガスゼロを実現する革新的な ENVI のレンジエクステンダー搭載電気自動車のメリットに、現代的なフォルムやクラシックな雰囲気を持つ堂々としたスポーティな姿勢、そして高級感のあるすばらしいインテリアを組み合わせています。」

クリーゴンはまた、次のように付け加えています。「クライスラー・200C EV コンセプトカーの存在意義を高めているのは、旅行や日々の生活を完全な楽しみとするテクノロジーを採用したことです。200C EV コンセプトカーは、ドライバーとクルマの間に実りある関係を作り出す、車外との接続ポータルです。その結果、世界に繋がりたいという人間の本能を讃える走りが実現しました。」

クライスラー・200C EV コンセプトカーのボディはすばらしいフォルムを実現しながらも、空力性能を向上させるよう設計されています。

また、インテリアにおいても、未来を見据えたテーマが展開されており、細部にわたって造形され、豊かな装備を備えた空間が生み出されました。室内にはスイッチ等はありません。すべての機能や設定、「uconnect」機能は、パノラミック・マルチメディア・タッチスクリーンや乗員専用の「テクノリーフ」、格納式のタブレット PC により制御されます。

クライスラー・200C EV は、クライスラーの実績ある後輪駆動プラットフォームのショートバージョンをベースとし、潑刺として軽快な外観のパッケージにまとめたパフォーマンスセダンです。自動車やテクノロジーに関心の高い人々が望むようなスタイルや性能、快適装備の融合を実現しました。

デザイン部門ヴァイス・プレジデント、ラルフ・ジルは次のように述べました。「クライスラー・200C EV は最高のエンジニアリングと自動車デザインの融合という問題の解決を追求する私たちの情熱の表れです。200C EV では、きわめて流麗で空力性能に優れたスタイリングにより ENVI パワートレインの効率を最大限に高めるとともに、前衛的なインテリアと先進的な車内からのネット接続機能により未来に向けて前進することができました。」

ジルは次のように付け加えました。「自動車愛好家のためにデザインされた 200C EV は、クライスラーのダイナミックなデザインの伝統を受け継ぐとともに、クライスラーの次世代パフォーマンスセダンの可能性を示しています。」

シンプルでエレガントなエクステリアデザイン

クライスラー・200C EV コンセプトカーは、有機的なフォルムとクライスラーの深いルーツに根ざしたデザイン手法にクライスラー・300 の堂々としたプロポーションを組み合わせることで、時間を超えた美しさを表現し、高級車を好む人々とスポーツカーファンの両方にアピールする現代的な主張を生み出しています。

クライスラー・200C EV 主任エクステリアデザイナー、ニック・マラコフスキーは次のように述べました。「重要なのは、クライスラーファンだけでなく、さまざまな潜在的顧客の関心を引き起こすようなクルマをデザインすることです。200C EV コンセプトカーの本質は、洗練性と新鮮さです。より有機的なデザイン思想を採用することで、クライスラーブランドのデザインを次のレベルへと発展させることができます。」

200C EV のデザインでは、効率の高さも重要な要素であり、後方へ流れるようなフロントエンドが空力特性の向上に貢献しています。フロントフェイスはクライスラーウィングを現代的に解釈したものであり、その特徴あるグリルにも、クライスラーのブランドアイデンティティを形成、発展させています。フロントフェイス内にはフレームで囲まれたグリルバーが配置され、自己主張の強いスタイリングと精緻な仕上げを持つ 200C EV コンセプトカーのしなやかな優美性がさらに高まっています。

ヘッドライトとテールランプはスタイリング上の大胆な造形的要素として処理され、有機的なフォルムとデザインテーマ全般に渡る機能性を高めています。また、ヘッドライトとテールランプを可能な限り車両の隅に配置することで、フロントおよびリアのオーバーハングが視覚的に減少し、効率の高い外観をさらに引き立てています。フロント下部のフォグラмпおよびリアのバックアップランプは、周囲のフェイスにシームレスに一体化されるとともに、LED 技術を採用することでサイズが最小限に抑えられています。200C EV には、分散ドットマトリクスなどの現代的なグラフィック手法が機能のおよび視覚的要素として全体に使用されています。

200C EV には、ホイールとボディの関係が最適化された、堂々とした姿勢とプロポーションが与えられています。クリーンなボディサイドと抑制の効いたラインワークが、現代的デザインの「レス イズ モア(過ぎたるは及ばざるがごとし)」の法則に従っている場合にのみ達成されるエレガンスを伝えます。エアロダイナミックミラーとドアハンドルなどのシンプルで現代的なアイテムも、フォルムと機能の融合に一役買っています。

光り輝くダークグレーの環境に優しい水性塗料、リキッドグラファイトパールのエクステリアカラーによって、厳粛で洗練された雰囲気が生み出されています。ティンテッドガラスをウォームブロンズに着色し、エアコンディショナーの負荷を軽減しています。また、ウィンドウの周囲には手工芸の研磨アルミ製アクセントトリムが配置されています。

インテリアの特徴は快適性とネット接続機能

インテリアの快適性の最大化やスペースの有効利用、ネットに接続された環境の構築は、200C EV コンセプトカーの開発における重要な目標でした。インテリアデザインチームにとっての着想の源は、自然で高級感のある有機的な素材と現代的な家具デザインでした。

エクステリアカラーとは対照的に、インテリア空間は明るく、心地よいデザインとなっています。車内では、リーフグリーンの LED 照明とステッチが有機的で、クリーンな形状を引き立てています。パール、グラファイト、リーフグリーンの色の組み合わせが、暖かく、心地よい室内空間を作り上げています。

クライスラー・200C EV 主任インテリアデザイナー、ライアン・パトリック・ジョイスは次のように述べました。「200C EV コンセプトカーのインテリア空間は、現代的で彫刻のような形状と広々とした開放的な感覚のデザイン手法を特徴としています。私は、家に帰るために短いルートと長いルートが選べる場合には、乗員が長いルートを選びたいくなるようなインテリアを作りたいと思っています。」

車内に入るとすぐに気がつくのは、インストルメントパネルに配置されている大型スクリーンです。車両を始動すると、先進のビークル・インフォメーション・センターや、次世代のクライスラー uconnect インフォテインメントシステム、そして複合タッチスクリーンなどを含む電子インストルメントパネルが起動します。

複合タッチスクリーンは車両の接続システムの核として機能するタッチスクリーンで、無限の通信手段を実現し、車内を外界への入口へと変えるシステムです。このシステムは好みに応じて、複数のドライバーに対して個別にカスタマイズを行ったり、簡素化したりすることができます。近年発売されている他のタッチスクリーン式の電子デバイスと同様、スクリーン自体に触れるだけで、ドライバーが画像を移動させたり、インフォテインメントシステムを選択したり、画像や背景、ムード、ボリューム、照明を好みに応じて変化させることができます。

開放的な空間へのこだわりも、200C EV コンセプトカーの特徴の 1 つです。アルミ製の装飾パネルがセンターコンソールからインストルメントパネルを通り、助手席のドアまで延びています。1 列目のキャビンスペースは伝統的な 50:50 分割シートとは異なっており、巧みな設計を行うことで、よりスペースの広い 60:60 分割シートのように感じられます。薄く、脊椎をサポートするようにデザインされた運転席と助手席のシートには、パールカラーのクロムフリーレザーを使用し、リーフグリーンのステッチを施すことで、室内にスポーティで高級感あふれる印象を与えています。4 つのパケットシートは独立してシートヒーター／クーラーの温度調整ができるようになっています。

助手席の乗員は個別のエアコン調整とインフォテインメントシステムを内蔵する「テクノリーフ」を操作することができます。なめらかなガラスの表面に触れるだけで、グローブボックスから助手席用のタッチスクリーンコンピューターが立ち上がります。ユーザーはインターネットを閲覧したり、パーソナル プレイリストをスクロールして確認したり、車両

のメンテナンスを予約したり、またはドライバーへ道順を教えたりすることができます。テクノリーフの下に配置されているコンパートメントは、パーソナルモバイル機器の充電ステーションとなっており、電子機器を充電パッドの上に乗せるだけで充電を行うことができます。後席乗員のためにも、カンチレバー式フロントコンソール アームレストの下側に同様の充電ステーションが用意されています。

太いリムの 1 スポーク ステアリングホイールには、2 タイプのレザーが使用されています。ステアリングの上部にはパールレザーが巻かれ、下部にはエコグリーンでパーフォレーションされたグラファイトレザーが巻かれています。ステアリングコラムとレバーは削り出しのアルミ製で、精緻でテクニカルな感覚が演出されています。運転者は右側のレバーを操作して、トランスミッションをドライブポジションにすることができます。ホーンパッドはリーフグリーンのステッチを使用したパールレザーでカバーされ、大きく後退し、クライスラーのウィングが取り付けられています。

200C EV コンセプトカーのエアコンディショナーは、間接的または直接的に作動します。間接的には、フロントガラス近くに配置された金属メッシュの吹き出し口を経由して、空気がキャビンを流れます。また、空気は、ドライバー画面および助手席の外側ベントを囲むイルミネーションの付いた金属メッシュのベゼルを通じて、乗員に直接当てることもできます。

200C EV コンセプトカーのドアのインテリアは 2 トーンになっています。ドアの上半分は、エコグリーンステッチと研磨されたアルミのアクセントが施されたパールレザーで装飾され、下半分にはフロア材と同じ素材を用いています。

このコンセプトカーのフロア材は禅の石庭に発想の源があります。落ち着いたグラファイトの波がフロアからセンターコンソールのサイド部分を通り、波打つようにドアに流れています。また、取り外しのできるフロアマットにはリサイクルされたナイロンを用い、実用性と持続可能性に配慮しています。

トランクには再生レザーの積載フロアを備えた追加の収納部が設けられています。

アドバンス インテリアデザインスタジオ

200C EV コンセプトカーのインテリアは、クライスラー社のアドバンス インテリアデザインスタジオが開発しました。このスタジオの第 1 の目標は、将来のすべてのクライスラー、ダッジ、ジープ製品について品質、バランス、仕上がりを改善することです。最新鋭のデザインソフトウェアとコンピューターモデリングプロセスを使用することで、インテリアのデザイナーはこれまでになく短期間で、「品質、バランス、仕上がり」を達成することができました。アドバンスインテリアデザインスタジオが担当することで、サプライヤーを最大で 1 年早く関与させることが可能になり、ユーザーの調査、装備の承認、素材の選択に時間を掛けることができました。アドバンスインテリアデザインスタジオは、専任の、顧客志向かつインテリア専門のデザイナーおよびエンジニアのチームを特徴としています。

クライスラー・200C EV ENVI 電気駆動

200C EV コンセプトカーは、最新のクライスラーENVI 電気駆動自動車です。

ENVI のレンジエクステンダー搭載電気自動車技術を採用する 200C EV コンセプトカーは、クリーンで落ち着いたエレガンスと滑らかな加速を特徴とし、クライスラーブランドの魅力ある走りが強調されています。

ガソリンを使用せず、排出ガスも出すことなく、バッテリーに蓄えた電気のみで 40 マイル(約 64 km) 走行することのできる 200C EV は、発電のための小型ガソリンエンジンと一体型の電気ジェネレーターを搭載しており、航続可能距離を 400 マイル(約 640 km)まで延長することができます。

クライスラー・200C EV コンセプトカー 参考主要諸元

タイプ レンジエクステンダー（航続距離延長装置）搭載電気自動車、セダン、4名乗車

パワートレイン及びサスペンション

レイアウト 後輪駆動
モーター 最高出力: 200 kW (268 hp)
回生制動
バッテリー リチウムイオンバッテリー
サスペンション フロント: 独立懸架
リア: 独立懸架
レンジエクステンダー (航続距離延長装置)
SULEV ガソリンエンジン及び電気ジェネレーター
継続電気出力: 55 kW (74 hp SAE)

ホイール及びタイヤ

タイヤサイズ(フロント) P245/45R20 28.7 インチ / 728 mm
タイヤサイズ(リア) P245/45R20 28.7 インチ / 728 mm

カラー

エクステリア リキッド グラファイト パール
インテリア リーフグリーンアクセント付パール

キーパフォーマンス

0-60 mph (0-96 km/h) 約 7 秒
スタンディング ¼ マイル (0.4 km) 14 秒中頃
トップスピード 120 mph (約 193 km/h) 以上
オールエレクトリック レンジ 40 マイル (約 64 km)
トータルレンジ 最大 400 マイル (約 640 km)

重量及び寸法

全長 192.1 インチ / 4,879 mm
全幅 73.6 インチ / 1,870 mm
全高 57.3 インチ / 1,455 mm
ホイールベース 116.1 インチ / 2,948 mm
トレッド(前／後) 63 インチ / 1,600 mm 63 インチ / 1,600 mm
最小回転直径 33.4 フィート / 10.1m